

令和7年度
所管事務調査報告書

令和7年4月
竹富町議会総務財政委員会

【調査目的】

鳩間島における主要な行政機関や関連施設の現地踏査を行い、機能及び運用面の実態や施設の管理運営の現状を把握することで、更なる円滑な運用や諸課題にかかる改善点等について調査・研究を深め、今後の行政運営にかかる提言や政策・施策の形成に資することを目的に所管に関する事務調査を実施した。

【調査実施日】 令和7年4月23日（水）

【実施場所】 鳩間島・西表上原（港湾）

【総務財政委員】

宮良道子委員長、東金嶺肇副委員長、三盛克美委員、上勢頭巧委員、崎枝裕次委員、大浜一将委員、大久研一議長

事務局随員：宮里良貴事務局長、喜久本亮事務局次長

【行程】

所要時間	行き先等	備考
8：15	石垣離島ターミナル集合	
8：30～9：30	石垣港発上原港経由～鳩間港着	移動
9：30～10：00	鳩間緊急離着陸場	防災危機管理課
10：00～11：00	鳩間小中学校	教育委員会総務課
11：00～11：30	教職員宿舎	教育委員会総務課
11：30～12：00	つばさ寮・消防車庫	教育課・防災危機管理課
12：00～12：30	鳩間港～上原港	移動
12：30～13：30	昼食	
13：30～14：00	上原港	港湾施設
14：00	解散	

1. 鳩間島緊急離着陸場（佐加伊勲防災危機管理課長・浦崎消防団長による説明）

竹富町における緊急離着陸場は、平成11年度から平成14年度にかけて、町内7か所（竹富、黒島、小浜、新城、大原、上原、鳩間）に辺地対策事業債を財源として整備され、鳩間緊急離着陸場は平成13年度に整備された。

整備されてから24年が経過し、施設全体の老朽化が進み、照明機器の不具合などによる緊急時の安定的なへり離発着に支障をきたしている状況である。

このようなことから、令和5年度には、緊急対策用として可搬型の照明機器（境界灯）を配備し、施設設備の不具合時に備えた緊急時の対策を講じているが、更なる万全な体制を構築するため、本年度において、沖縄離島活性化推進事業補助金を活用し「竹富町救急搬送用場外離着陸場機能強化事業※」を実施する。



※令和7年度 小浜緊急離着陸場・大原緊急離着陸場・住吉緊急離着陸場
令和8年度 鳩間緊急離着陸場・黒島緊急離着陸場
令和9年度 竹富緊急離着陸場・新城緊急離着陸場

緊急搬送の対応は119コールで西表西部診療所医師の判断指示によりヘリ搬送に対応し、搬送件数は年間で約2、3件。船による搬送対応は年間で約4、5件程度あり、3名の団員で対応している。



設備のうち、境界灯及び照明灯の一部に不具合（照明切れ）が見受けられた。

次年度に実施する機能強化事業では、照明機器全体の入れ替えにあわせ離発着面の“Hマーク”の表記塗装などの改修も行う予定である。

その他、隣接地の雑木伐採処理や障害灯についても確認を行った。また、浦崎消防団長からは、鳩間地区の消防団員は3名で平均年齢も高齢化し、安定的な活動体制に不安があることについて説明を受けた。

2. 鳩間小中学校（加治工教頭先生による案内）



現在の鳩間小学校の児童は5年生1名と6年生2名の計3名の複式学級。中学校の生徒は1年生2名と3年生1名の計3名の複式学級となり小中学校全体で2学級の児童生徒数は合計6名、教職員10名により学校運営を行っている。

校舎施設は、平成30年度に整備更新され、普通教室、特別教室の備品、設備等の充実に加え、各教室には電子黒板が設置されるなど、十分な教育環境が整っていると見受けられた。

給食調理場と食堂は平成9年度に整備され築28年が経過している。現在、老朽化により窓開閉の不具合や虫の進入による衛生的な問題が発生していることから、食環境の安全確保を図るため、害虫の防除・進入防止策及び設備の改修について緊急的に対策を講じる必要がある。



体育館は平成15年に整備され、築20年が経過している。

屋根の庇部分は全体的に錆腐食が進み、東側では雨漏りによる内壁の腐食・剥離が進んでいるため、本年度で雨漏り防止の改修工事を予定している。



小規模校であるが学校内敷地は10,697平米とグラウンドや校舎部も含め敷地全体は広々と充実している。近年、島内での野山羊の増加が著しく、学校敷地においても、校舎（廊下）やグラウンドをはじめ敷地全体では糞の被害による清掃や進入防止対策に苦慮している。進入防止の対策としてラジカセ音響による進入抑止や防止ネットを設置しているが、完全な進入防止には至っていない。



3. 教職員宿舎



島内には教職員宿舎が5棟11戸整備されているが、最も古い建物では築39年が経過し、特に2号棟では鉄筋の腐食により外壁や柱の亀裂、剥離が著しく進み、鉄筋がむき出しになるなど非常に危険な状況にあるため緊急的に施設の更新を行う必要がある。なお、更新にあたっては教職員に限らず、つばさ寮監（地域おこし協力隊）の寄宿舍も併せて検討する必要がある。

4. つばさ寮（佐藤寮監による案内）

「鳩間島留学支援多目的施設つばさ寮」は平成29年に整備され、平成30年度より運営開始されている。現在、男子3名、女子2名、計5名が入寮しており、施設は男女部屋4部屋、寮母室、ダイニング、多目的学習室、男女トイレ・風呂・洗濯室、保健室が設置され、寮監は地域おこし協力隊3名が3シフト制の勤務形態で子供たちの食事提供や生徒指導、日ごろの生活全般の見守りを行っている。

運営にあたり、大きな問題はないが、船便の欠航の影響による、食料の調達やストックに苦慮している。対策や独自の取組として、欠航を見据えた一定量の食材ストックや地域住民からの魚の差し入れを受けるなど工夫しながら児童生徒の生育に支障が無いよう食事提供を行っている。



4. 消防車庫

車庫内は車両・設備共に整理整頓され、緊急時の万全な体制が整っている。



5. 上原港湾施設

荷捌き場は、荷台等の保管や荷物の搬入搬出作業が十分に行えるスペースが確保されている。一方では、屋根が高いことから、「雨天時には内部への雨の進入が心配されるのでは」などの利用上の懸念事項についても確認された。なお、港湾敷地内では、200枚を超えるパレットが積み上げられており、放置車両や家庭ごみの不法投棄が確認された。



6. その他

通事公民館長より、鳩間島において長年にわたる懸念事項として、安定的な航路運航について要望があった。

【委員長所見】

鳩間島緊急離着陸場は、島内に医療機関が無い無医地区であることから、緊急重篤患者が発生した島外搬出時においては非常に重要な施設として位置づけられています。今回、確認された不具合等については、早急に対処し、島民の生命を守り安心して暮らせる生活基盤の重要施設としての機能・性能の保持に努めていただきたい。

また、消防団員の確保については、限られた島民数であることから、特に若年中年層への加入の啓発促進に併せ、学校教職員の加入へ向けた働きかけによる消防団活動の充実強化を図ることも重要であると考察する。

鳩間島において主要な公共機関である町立鳩間小中学校は、教育機能以外においても地域のコミュニティー形成には欠かせない非常に重要な存在となっていることから、学校関連施設全般においては、引き続き運営体制の保持にあわせ施設の適正管理に努めていく必要がある。また、修繕・改修が必要な個所については、今後、その老朽化が進むことによる多額の経費を費やすことがないように、公共施設等総合管理計画で示しているとおり、不具合

等の状況が最小限のうちに改修するなど改修経費の削減・抑制や施設の長寿命化に繋がるような予防保全型の対策を講じる必要がある。

なお、教職員宿舎施設の更新にあたっては、現敷地が借地であることから、用地の取得及び移転先の用地確保についても併せて検討していくことも必要となることが考えられる。

鳩間島における公共機関・施設等については、3次離島という地理的な条件の不利性や生活環境の格差の観点からも、これらの存在・存続が島嶼での生活環境に不可欠な要素・役割を担っており、機能不備や性能の不具合はが島民の生活環境及び経済活動に及ぼす影響が大きくなることから、施設機能の保持・充実に併せ、教職員・地域おこし協力隊の多角的な参画促進や住環境の整備など、地域コミュニティーの醸成に繋がる施策を講じる必要がある。

上原港湾施設について、特にパレット問題はこれまでも全町的な一掃処分や条例制定による搬入搬出体制の対策を講じてきているが、大量に蓄積された現状をみるとその成果は十分でないことから、従来の手法に代わる新たな対策を講じることが強く求められている。また、パレット集積場所の周辺では、車両放置や家庭ごみの不法投棄など、パレットの集積に乗じた投棄の問題も誘発していると見受けられることから、早急に抜本的なパレット流通の構築や不法投棄に対する監視体制の強化、啓蒙啓発等に努めていく必要がある。